

愛知県名誉県民顕彰式に出席しました

12月3日、愛知県庁講堂にて愛知県名誉県民顕彰式が挙行政され、4名の方が今日迄のご功績に対し、顕彰を受けられました。愛知県名誉県民顕彰式は昭和62年の桑原幹根元愛知県知事以来24年ぶりのことです。私も当日の式典に出席し、大変貴重な経験をさせていただきました。



前列左2番目から 海部俊樹氏、鈴木禮治氏、豊田章一郎氏、野依良治氏

顕彰を受けられたみなさま

- 海部 俊樹 元内閣総理大臣
- 鈴木 禮治 元愛知県知事
- 豊田 章一郎 トヨタ自動車(株)名誉会長
- 野依 良治 名古屋大学特別教授

ひび挑戦! 「改正NPO法」に関する勉強会に参加しました

NPO法は1998年に成立した法律ですが、昨年6月に大改正がなされました。

大きな変更点は

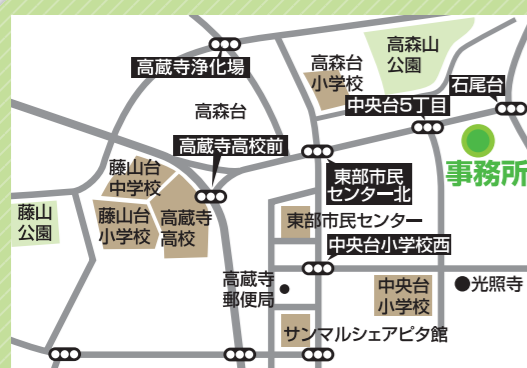
- ①個人寄付がしやすくなる
→寄付される方の所得税・住民税の税額控除が大幅に拡大(下表参照)
- ②NPO法人の税制優遇がより受けやすくなる
→認定NPO法人の基準がゆるやかに
- ③NPO法人の所管が国から都道府県(政令市)に移行される
→地域主権の一環

特に③については、今後、法改正に伴う条例制定が必要となり、愛知県議会においても次の2月定例議会において、条例案が議案として取り上げられることになっております。これまで公共サービスは国や自治体が提供してきました。しかしながら、行政の財政難や人員削減によりこれらをすべて補完することには限界が来ています。こうした中で、NPO法人や地域団体と自治体が協同して地域を支える仕組みをしっかりと確立することが大変重要です。

減税額比較(所得600万円の場合)

	従来	改正後(※)
1万円寄付	1,600円	3,200円
10万円寄付	19,600円	39,200円

※ 計算式 (寄付金額-2000円)×40%(住民税10%と併せて最大50%)を所得税額から差し引く



下記住所に事務所を構えておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 春日井市中央台6-7-4
- 電話 0568-70-0594
- FAX 0568-70-0580
- HP http://www.wb.commufa.jp/hibi_55/



日比たけまさ県政レポート 第3号

発行元:日比たけまさ事務所 春日井市中央台6-7-4 TEL:0568-70-0594 発行責任者:日比 たけまさ

前進あるのみ!!

2012年がスタートしました。

「ひとつひとつ、乗り越えていく」

そういう一年にしなければなりません。そんな中、今年には近隣諸国を中心に世界各国のリーダーが入れ替わるあるいは選挙が行われます。

まずトップをきって、1月14日に台湾の総統選挙が行われ、現職の馬英九総統が勝利しました。この結果を受けての中国と台湾の関係については、今後しっかりとチェックしなければなりません。



初詣 春日井市 内々神社にて

その中国もこの秋に開かれる共産党全国代表大会にて、胡錦濤国家主席の後継者として習近平国

家副主席が新指導者になることが確実視されています。さらには、韓国でも年末に大統領選挙が行われ、北朝鮮では予期せぬ形で金正恩氏が最高指導者になりました。また、ロシアは3月、フランスは5月、アメリカは11月に大統領選挙が予定されています。

諸外国の政治が一気に動こうとする中、日本としてここはしっかりとした対応を取る必要があります。そして震災復興、景気回復、財政健全化に向けた明確な道筋を国内外に示さなければなりません。

私は将来に向け「希望の持てる」、「笑顔があふれる」愛知を築きたいと思い、政治の道を選びました。

おそらく国、地方と形は違えども政治に携わる者の原点はみな同じだと信じています。

"One for all,all for one"

今年はこうした姿勢を議会で強く示していかなければならないと思います。

11月定例議会開催

愛知県議会11月定例会は、11月29日から12月16日まで開かれ、地域医療再生基金の積立金(※1)や台風15号による災害対策復旧費(※2)などを盛り込んだ約188億円の一般会計補正予算案や、来年4月に発足させる東三河県庁の拠点となる東三河総局を設置する条例改正案など(※3)38議案を可決しました。



愛知県心身障害者コロニー全景(春日井市神屋町)

また大村知事は、公約だった「県民税10%減税」の実施見送りを表明し、それに代えて、法人税減税10%分に当たる50億円を産業空洞化対策に充てる方針を打ち出しました。

※1:愛知県心身障害者コロニー(春日井市)の再編計画費用(建替含む)も含まれます。

※2:内津川などの改修工事費用も含まれます。

※3:その他、これまで知事の権限に属する事務であったパスポートの発給申請が条例改正により春日井市に移譲されることとなりました。来年4月からは春日井市役所にて実施される予定です。(従来同様、愛知県旅券センター(名古屋駅ルーセントタワー内)などでも行えます)

委員会関係

12月7、8日に産業労働委員会が開催されました。今回の委員会では「次世代産業育成、振興策」として、政府の掲げる「国際総合戦略特区制度」に申請中(※)の「航空宇宙産業」や、将来にわたり大きな市場が期待されている「次世代ロボット産業」について、これまでの県の取り組み実績や今後の方針を伺いました。

というのも、どちらの産業も愛知県が国内市場をリードしている生産拠点となっているからです。特に航空宇宙産業は、先日就航したボーイング787(部品の35%が日本製で「準国産機」とも呼ばれています)の量産化や日本初のジェット旅客機MRJプロジェクトの成功に向け、非常に大切な時期を迎えていることから、県の意気込みを確認しました。

またロボット産業も現在のトップシェアを活かしながら、さらなる飛躍を目指し「事業化を徹底的に追求した」実証実験や市場調査を実施していただくよう要望しました。

県からは前向きな回答をいただくことができましたので、今後の動向を注視していきたいと思えます。

その他の委員会活動

産業労働委員会 10月26～28日 稚内メガソーラー発電所、苫前町役場、トヨタ自動車(株)土別試験場
教育文化・福祉対策特別委員会 11月17日 「国際展とあいちトリエンナーレ」講師 五十嵐 太郎芸術監督



あいち次世代ロボットフェスタ会場風景

(※)12月22日に「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」が指定されました。今後は「海外からの部品調達コストの削減に向けた関税撤廃」、「部品の一貫受注システム構築に向けた中小向け支援」、「工場の新規立地に関する規制緩和」などに取り組む予定です。

代表質問 安藤 としき政調会長 (清須市・北名古屋市及び西春日井郡選出 2期)

減税について

《Q》 県民税10%減税ではなく、県経済活性化のためには他の政策手段をとるべきではないか。

《知事》 厳しい県経済状況に対し、経済の活性化と雇用確保のためには、自動車税制の抜本見直しなどによる産業空洞化対策に全力を注ぐ必要があると判断した。県民税減税は見送ったが4年間の任期の中で実現に努める。

産業空洞化防止について

《Q》 「産業空洞化対策減税対応基金」(仮称)の政策意図と、今後の財源捻出をどうするのか。

《知事》 法人県民税の減税相当額(約50億円)を基金として、県内企業の海外移転を防止し、県内への新規立地などを支援する制度としたい。ベンチャー企業支援にも活用する。来年2月の県議会に具体的な条例案と関連予算を提出する。財源は歳入歳出の行財政改革で確保するよう努める。

県営名古屋空港について

《Q》 防災、産業面を含めた県営名古屋空港の機能拡充はどうか。

《知事》 フジドリームエアラインともよく相談し、特性

を生かした利用促進に努める。また、周辺地域を「航空宇宙産業クラスター形成地区」として、小型航空機の開発、生産、整備の拠点を目指し、関係者との連携強化に努めていく。



県営名古屋空港管制塔

再生可能エネルギーについて

《Q》 再生可能エネルギーの普及促進にどう取り組むか。

《知事》 設置数日本一である住宅用太陽光発電をさらに進めるとともに、企業などによるメガソーラーも重要であるとする。県庁を挙げた「電力・エネルギー対策本部」により、スマートコミュニティなど地域分散型エネルギーシステムの推進を図る。



稚内メガソーラー発電所

一般質問

武道必修化に向けた安全対策を問う

浅井よしあき議員(豊橋市選出 2期)は、来年度から中学校で必修化される柔道や剣道などの武道指導のあり方について質問しました。

始めに中学・高校での柔道の練習中に起きた死亡事故は過去25年間で117件、障害の残る重大事故も270件に上っていることを指摘したうえで、柔道大国であるフランスが柔道指導者に国家資格を設けていることを紹介し、県に安全対策や指導者養成策を尋ねました。

これに対し教育長は、大学や武道団体の協力を得ながら、「武道指導者養成講習会」を開催し、教員を

対象に実技指導を今後、より充実していくと答弁しました。

その他の一般質問

中村すすむ議員(豊田市選出 2期)

愛知県のエネルギー政策について
重点改革プログラムの公開ヒアリングについて
柴田高伸議員(知立市選出 2期)

児童虐待防止について、多文化共生について

西久保ながし議員(岡崎市選出 1期)

知事の県政運営について、愛知のモノづくりについて

ナノテクノロジーの世界へ

兵庫県佐用郡佐用町にある大型放射光施設「Spring-8(スプリングエイト)」を見学しました。

「Spring-8」は、放射光と呼ばれる非常に明るい光を使って、原子レベルの微細な構造や動きを観察することができるスーパー顕微鏡です。

この施設は世界の三大施設といわれ(残りはアルゴンヌ<米>とグレンブール<仏>)、ナノメートルのスケールで分析や解析を行うことができます。

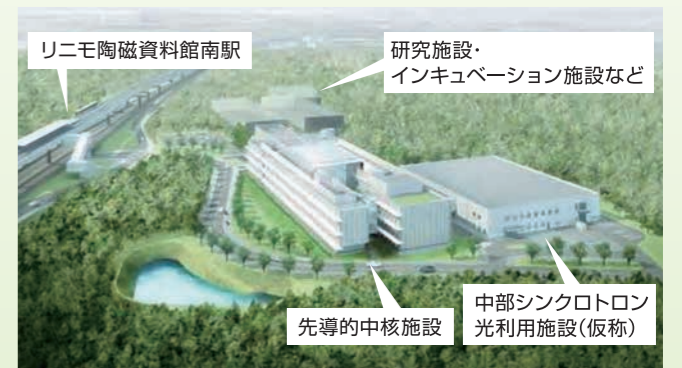
ナノメートルとは1メートルの10億分の1の長さを指し、例えばナゴヤドームのバッテリーボックスから外野フェンスまでを1ミリとした時の砂粒1つの大きさが1ナノメートルになります。

この施設を利用することにより、環境にやさしい自動車排気浄化触媒や虫歯予防ガムなど、企業のものづくりに欠かせない研究、開発が進められています。

「Spring-8」を訪問した理由は、この放射光を利用

した「中部シンクロトロン光施設」が間もなく愛知県(万博の長久手会場跡地)にも完成するからです。

しかしこの施設はあくまでも分析・解析装置であり、利用者側が使いこなさなければ何の意味もありません。そのためにも、産業界と学問の連携が不可欠であり、県のコーディネート力が試されます。



知の拠点イメージ(愛知県より)